

TAGAMI KOUMINKAN DAYORI

地域づくり・人づくり・町づくり

豊かな自然に囲まれて

穏やかな清流「浅の川」と、緑豊かな「角間」の里山に囲まれて。



第113号

令和4年11月15日

編集・発刊 田上公民館広報視聴覚部 <https://tagamicc.jp/>



朝 散歩中に ふと足を止めて 一服していた所
「絆」と言う石碑が目に入りその文面を読んで 歴史
を辿ってみました。その石碑には三百の魂が一つと
なり 豊かな実りの地が 若々しい英知あふれる街
となる。その魂を永久に受継ぎ 藍色のまちを 愛
色のまちとせん。

平成12年12月金沢市若松鈴見地区土地区画整理組合

と 刻まれています。赤とんぼの 4本の柱に象徴
する若松地区（旭町下中島地区を含む）、鈴見地区、
若谷地区、上若松地区の約300軒の方々の さま
ざまなご意見が多数あつたことと 思います。
その歴史を 振り返って 今 自分自身も 愛色の
まちにするよう
心がけて行きたいと・・・

土本 邦博

絆
KIZUNA





田上公民館 SDGs 講座開講中

今年度の田上公民館女性部のイベフトとして

8月からSDGs講座が開催されています。

第1回講座はSDGsファシリテーターとして活躍されている、高 穂栄氏による『金沢版SDGsから学ぶ金沢のミライ』と題して開催されました。

今回の講座の中ではSDGsとは何か?これから誰一人として取り残さないすべての人が安心して暮らせるまちづくりに向けたお話をありました。

まずSDGsとは、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals・SDGs)の略称で、地球上で人類が安定して暮らし続けることができなくなると心配されているため、2030年までに達成すべき具体的な17の取組みを設定したものです。

現在の日本は高度経済成長後、様々な危機に直面し、現在では不安定な世界情勢、円安、物価高等で、生活に負担がかかっています。その中でも、SDGsを通して少しでも幸せな生活ができるよう努めていかなければなりません。

高氏のお話の中でもWHOの健康の定義として①肉体的②精神的③社会的とあり、③の中でも地域コミュニティに安心して参加できることとありました。コロナ禍の中でなかなか難しい部分はあります、終息に向かいつつあるので、地域の人たちと交流を深める機会も戻ってくるのではないでしようか。



家庭から出るごみを 減らすために



金沢市環境局ごみ減量推進課

〈次第〉

- ▶ 生ごみと古紙の減量化・資源化
 - ▶ 3Rの取り組み
 - ▶ おまけ（プラスチックごみについて）

→ 生ごみを減らすために

| | |
|------|--|
| 使いキリ | <p>冷蔵庫の整理整顿 出かける前に冷蔵庫・冷凍庫をチェック 「少しだけ安く買う」ではなく「使い切れる量を買う」</p> |
| 食べキリ | <p>「賞味期限切れ」 = 「捨てなきゃ」ではない ・残り物をアレンジ ・乾杯後30分間、お聞き前10分間は料理を楽しむ</p> |
| 水キリ | <p>生ごみの約80%が水分 水キリッズを使ってみよう! 捨てる前にひと絞り!</p> |

▶ 生ごみを減らすために

■ 生ごみリサイクル循環システム「ベジタくるーん」

生ごみをダンボールコンポストなどで堆肥に変え、てきた堆肥をJAほがらか村や市内園芸店などの9店舗で回収し、市民農園などで野菜や花の生産に活用するシステム



500円相当の商品か新しいダンボールコンポストと交換できます

▶ 金沢市の家庭ごみの状況

(燃やすごみの内訳)



また今回の講座では、『T H E SDGSアクションカードゲーム クロス』というカードゲームで、ある問題に対しても課題解決の方法を考えるゲームを行いました。老若男女SDGsについて考えられるきっかけがつかめるカードゲームだと思います。是非チャレンジしてみてください。

第2回講座では、金沢版SDGsシナリオ2「“もつたらない”がないまち」として金沢市ごみ減量推進課の方々から、ごみの減量化・資源化について、私たちが今できること、現在行われている事例をお話しいただきました。

先般の金沢市のごみ袋有料化に伴い、市の全体的なゴミの量は減少しているそうですが、その中でも多いのは生ごみとのことでした。フードロスも多く、その焼却に費用がかかっているそうです。フードロスを減らすとともに、私たちの生ごみの出し方についても考えて出す必要があることを学ばせていただきました。

今後もSDGs講座が開催されますので、お時間のある方は是非ご参加ください。これらの金沢のミライ、私たちのより良いまちづくりに向けて一緒に考えませんか？

松原
正恵



サマーサマー

ギヤラリー

開催



9月10日(土)～9月15日(木)に、田上公民館にて令和4年度田上公民館夏休み児童作品展「サマーサマーギヤラリー」が開催されました。

「サマーサマーギヤラリー」は、田上小学校、杜の里小学校の児童を対象に、夏休みに作成した絵や工作を募集し、応募された中からすてきな作品を各学年2人ずつ公民館で展示しています。

公民館長賞に「ダジャレかるた」嘉門 詩莉さん(田上小4年生)、「ねんどで作つたくじやく」宮崎 柚衣さん(杜の里小5年生)、校長賞に「うみのちょ金ばこ」俵 茉白さん(田上小2年生)、「きょうだいの木」前田 杏澄さん(杜の里小2年生)、優秀賞には20名の方が受賞されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

今年は、細かい細工があるもの、発想が豊かなもの、作り方が想像できない大きいものなど、バラエティーに富んだ作品展でした。家族や夏休み中に見たもの、好きなものを各自工夫し、表現されていました。これらを作った皆さんは、作る過程で、夏休みの思い出が記憶にも、形にも残るものになったことと思われます。

10月からのオンライン作品展示会にも同内容が展示されますので、9月に「サマーサマーギヤラリー」に行けなかつた方は、是非閲覧してみてください。創作意欲が湧いてくるかもしれません。

谷内 美恵子

Kanazawa Tagami Community Center

Gallery of the summer & summer

